

加山興業株式会社 様

豊橋商工会議所 第14回環境経営賞

優秀賞

使用済み太陽光パネルの適正処理・リサイクル事業

【表彰理由】

(1) 取組状況

加山興業株式会社は、産業廃棄物処理業者として、廃棄物の破碎選別施設、焼却・解体施設、固形燃料RPF施設等を保有して廃棄物リサイクル事業を中核事業として実施するとともに、併せて解体事業、自然エネルギー事業、養蜂事業、環境啓発事業など「環境」を軸として多角的な事業活動を展開している。

今回申請の対象となっている使用済み太陽光パネルについては、多くは破碎等された後、埋立処分されているが、同社においては回収・搬入した使用済み太陽光パネルを中間処理として、①ジャンクションボックスの取外し、②アルミフレームの取外しをしたのち、③2023年に愛知県内の処理業者の中で最初に導入したセラミック粒子を用いたブラスト機器でカバーガラスをバックシートから高精度で剥離し、剥離後、振動篩でガラスとブラスト材を分離し、ブラスト材はリユースするとともに、ガラス等は銀や銅を高純度で回収するため、それぞれの専門メーカーに引き渡すリサイクルルートを構築している。

(2) 評価

太陽光発電は日本における再生可能エネルギーの主力であり、2012年に固定価格買取制度(FIT)が導入されて以降、各地で加速度的に設置された。しかし、太陽光パネルの寿命は20年～30年とされており、またFITの事業期間が20年であることから、2030年代には大量の使用済み太陽光パネルが廃棄物として発生すると予測されている。このような中、今回申請のあった取組により使用済み太陽光パネルのリサイクルが適切に実施されることは、最終処分量の減容化はもとより、二酸化炭素排出量の大幅な削減、資源循環経済の拡大等が期待でき、環境経営として高く評価できる。

以上の理由から、本事業に「豊橋商工会議所 環境経営賞 優秀賞」を贈り、顕彰する。

令和8年3月25日

豊橋商工会議所 環境経営賞 審査委員長
稲垣 隆司

